

6124572

健康保険証を一体化したマイナンバーカードの導入は通常国会閉会後も次々に深刻さが明らかになります。岸田文雄首相は「マイナカードの認証を行つて貰いますが、2004年秋に保険証を廃止するの方針は変えません。」、「国民の信赖回復」を掲げるなり先の国会で成立した改定マイナンバー法を眞直ぐ、保険証廃止をやめなくて済みます。

## マイナカード混乱

主張

は、利用が少ない今の段階でも大混乱を引き起こしています。何の落ち度もない患者、医療機関に多大な負担をもたらし、保険診療の妨げとなっています。

これが止まれ」と、この頭が醫王にして  
こののは済然ですか。

に連絡してもいたらない、カードを読み込む機械が不具合、保険証を持ち合わせてこなかったなど、理由で保険資格を確認できず、医療費の10割を患者に請求せざるを得なかつた例は保険運の調査・推計データの一件に上りました。

豊田前相は眞面目で、マイナカー博士が「デジタル社会のパスワード」と呼び、国庫金貯に持たせることを改めて強調しました。命にかかる医療を人間に取り、問題提起が起きて、もとより止めるといふかぎりしない政権は過激しかありません。

発行済みの保険証を25年秋まで  
使う、「猶豫期間」も使って、対  
策を講じることになります。逆立ちし  
た考え方です。専門が明白なシステム  
は、被書を拡大しないよう、  
選用を停止するのが最初にとなるべ  
き対応です。

マイナカードと保険証の一体化

までに何とかねえのが政府の方針です。解決の見通しありません。  
保険証で保険資格を確認して診療する仕組みに問題は起きてないませ  
せんやした。政府が一方的に廃止  
を持ち込んだのが今の事態です。「保険証を有効化せよ」「ま  
せん。

監・退職・結婚など機会に応じて  
する保険や個人情報が変わつて  
も、何ヵ用も反映されていなじ  
例が多発しています。後期高齢者  
の負担割合が間違っていた例や、  
額認証ができる、患者が確認書類  
を貰えていたなかつたので資格確認  
を断念した例も報告  
されてます。

の苦痛を舛田首相は嘗めたことがあるのでしょうか。